

2024年勉強会シリーズ

2023年の春、当プロジェクトが提言「[社会の分子ではなく、分母としての文化政策](#)」を公表してから、1年がたちました。提言を携え、プロジェクトの拠点である京都から各地に出かけることも多くなりました。多様なお仕事、お立場の方々と議論を重ね、じわじわと手ごたえを感じています。

ここからの1年は、さらに多くの方に提言を知っていただき、とくに、さまざまな種類の実践につなげていただくことを重視して、活動を続けてまいります。

同時に、当プロジェクトが創設以来謳ってきた「学際的な人文知と、実践現場の知見を結集した、包括的な文化政策学を構想したい」という基本に立ち返り、新たな共同研究に着手しました。

公開の勉強会については、随時このサイトでお知らせいたします。全国で勉強会を企画・共催してくださる方からのご提案も、引き続きお待ちしております。

第2回 「持続可能な社会づくり」の最前線から――

歴史ある建物の保存・活用と、提言「社会の分子ではなく、分母としての文化政策」

◆共催 NPO法人 古材文化の会

日時 6月16日（日）14：00～16：30（～お時間の許す方はもう少し雑談）

会場 NPO法人古材文化の会事務所（京都市山科区西野山階町35／アクセスは[こちら](#)）およびZoom

発話1 熊谷保氏（NPO法人古材文化の会会員／彌榮自動車株式会社不動産事業部次長、京都産業大学日本文化研究所上席特別客員研究員）

発話2 中川等氏（NPO法人古材文化の会会長／建築史家、京都市文化財マネージャー育成実行委員会委員長）

～全員討論

★ご出席の前に提言をご一読くださるようお願いします（提言冊子は[こちら](#)）。当日の議論は、全員がお読みになっている前提で進めさせていただきます。

ご参加について

参加無料・事前申込み制（募集定員 会場10名・オンライン10名／先着順／最終締切り 6月12日（水））

ご参加希望の方は[こちらのフォーム](#)からお申込みください。

- 今回の勉強会は、NPO法人古材文化の会とご一緒に実施します。上記定員のほかに古材文化の会の会員が参加されます。
- オンライン参加の方には、お申込み時に登録されたメールアドレスへ前日にZoomミーティングの情報をお送りします。勉強会中はZoomのカメラ機能をオンにし、お顔の見える状態にさせていただきますようお願いいたします。

お問い合わせ

cp_project@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp（新しい文化政策プロジェクト事務局）